

離島地区 町政懇談会を 開催しました

（◆印は参加者の発言内容、▼印は町長はじめ、町の発言内容です。掲載の都合から、発言の内容は一部抜粋して掲載しています。）

↓お問合せ
地域振興課広報係
6817013 (課直通)

◆羽幌町でマイナ保険証に切り替えた人は何割いますか？

▼マイナンバーカード自体が全部で8割くらいで、その8割のうちまだ半分ぐらいだと思います。

◆国の方針でマイナ保険証に切り替える予定で国が動いているらしいけど、切替促進の独自の取組について羽根町は行なっていますか？

▼マイナ保険証に切り替えることは任意です。仕組み自体がまだ始まったばかりですので、そのために資格確認書を出して今までの保険証と同じように使えるように国の方も行っています。マイナ保険証に切り替えた方が便利です。



烧尻地区

はじめに町から「国民健康保険・後期高齢者医療制度について」「焼尻小中学校等の整備について」の説明を行い、その後意見交換を行いました。

(学校等整備について)

◆令和8年度から10年度で改修を計画しているが、物価高が理由で予定通り進まないことを懸念している。確実に計画通り進めてほしい。

▼まず設計費を補正予算で付けます。そしてその設計業務が始まって、建築費がどの位かかるということが3月位にわかってきます。その段階で、その工事費の予算を改めてそこで計上することになります。その後すぐに向こう3年間の契約行為がありますので、そこで契約をしたらいややっぱり10年度できませんというこことはなりませんので、基本的な流れとしては、ここで契約したら8、9、10と3年間で工事をするということは言えると思います。

◆学校の教室にエアコンを付けて子どもたちが少しでも授業がしやすい環境を整えてほしいと思います。

◆ウミネコのコロニーが黒崎海岸からどんどん拡大して、

人家のある方にも向かつて伸びてきている。その弊害として、特に雛がかえる時期に非常に道路の通行に障害をもたらしていること、それから風向きによつてはウミネコの臭いがして、周囲の方たちは不快感を感じています。

町として、関係機関や専門家の方を交えて、鳥たちにあまり弊害のないよう繁殖場所を移動させることができないか検討しただけないでしょうか？

鳥を観光資源にしていますし、例えば交通事故等が起きてても良い印象を持たれなくなってしまうので、早急にお願いたしたいと思います。

▼何かできる手立てがあるのであれば、検討していかなければならないと思いますので、持ち帰り検討したいと思います。

(キャンプ場について)

◆天売島にキャンプ場がないので必然的にフェリーターミナル内の観光案内窓口では、焼尻でキャンプして下さいと話をしていると
思うのですが、キャンプブームであることも考えて天売にも

▼今回設計する中身にそのエアコンの工事も入っており、予定としては令和8年度でその工事をやっていきたいと今段階のスケジュールでは考えています。

利用者や予算と相談しながら
個数は決めていきたいと思っ
ますが、最低限通常使ってる教室
や職員室は付くのかなと考えて
います。

(フェリーの島民割引証ついて)

◆フェリーの島民割引証を役場支所ではなくフェリーターミナルで発行してほしい。また、ペーパーレスの時代に毎回交付というのは効率が悪い。証明用カードを島民に渡すことで土日の支所対応も含め効率化できるのではないかと？

▼割引証は金券と同じであり、使用した分を沿海フェリーからの請求により助成しているため、割引証をその事業者に預けるということにはならない。

カードについては、できないは別として、一番簡単なのはマイナンバーカードを活用する方法で住所情報が載っているで島民との把握は可能であり、町としても活用できればいいと考えるが、

今年天売は宿泊施設が出来たので、非常にありがたいことでは

あるのですが、キャンプのお客さんが来てくれれば勝手にキャンプをして帰ってくれますし、天売の商店、食堂、レンタル屋の経営も潤うと思います。

▼昨年の町政懇談会でその話題が出た際、港湾用地や愛鳥公園がどうかと提案しましたが、水道施設がないということと、碑があつて抵抗があるということ、一度庁内に持ち帰りましたが、まだ適地が見つかりません。今後、適地が見つかりましたら、そのときに前向きに相談できたと思います。

フェリーの「新造船について」

◆離島の重要な航路について、フェリーも老朽化していて、そろそろ入れ替え時期ではないかと思っています。そういうことが近々あるのであれば、船の大きさが大きくなるっていうことはまず考えられないとは思いますが、でも、ただ心配なのは小さくなればなるほど、やはり波に弱くなって欠航率が上がることです。今でも夏場は少し荒れると欠航し、それが観光にダメージを与えたり、それから

必要情報をカードに反映させたり、事業者においてカードリーダーを配置してという部分があるので、その辺を整理できれば便利になると思っています。

◆町有の建物の払い下げについて
町では何年経ったものとか、
そういう規定はありますよね？

▼例えば国の補助金を使って
作ったものに關しては、当然目的
があつて国から補助をもらつて

いるので、最低限何年使いたくないものがあります。例えば、この補助も使わずに作った建物であれば、事務手続き上、町として本来の目的として、もう使い道がないと判断すれば、違う目的に使うことは可能です。

◆西浦集会所は今まるつきり

使っていない状態で、今はまだいいですけど、他の建物と同じで結局人が利用しなくなると傷みがすぐ出てくるので、価値のあるうちに、住宅の問題も出ているので、例えば短期的に研修生を入れるとかそういうときにちよと利用できたらと思います。

▼今コミュニティセンターと
いうことで集会所扱いなので
町民課で西浦の近隣のみなさん
にも使い道としてどうだと

冬場になるとつと荒れることが常態化していくのですけども、そこで船のサイズもそうですが、時に強い構造の揺れない船、全く揺れないことはあり得なくとも、極端な話を言うとジェットfoilであれば、波高4mでも揺れずに動くんですよ。

九州とか離島では普通に走っています。いろいろ調べましたが、できるかどうかは非常に微妙なところというのはわかっていきます。ただ欠航しにくい交通にしてほしいことはみんなの要望というか、希望だと思うので、十分そこら辺検討していただきたいと思います。

▼フエリーもだいぶ年数が経ち、老朽化で修繕費も嵩んでいます。現在、運航事業者である沿海フエリーが国の補助金を使つて、今後の船をどうするのかということアンケートを取り、状況を踏まえて、今年度中にかけて、どういう形がいいかを作るものになっています。

調査が始まったばかりですから何とも言えませんが、同じくらいの規模のフェリーだと北海道で調べてくれたのが、令和4年ぐらいに400t程度のフェリーを造ったのが、大体20億かかっています、国で一部補助

いうようなお話を聞かせてもらった上で、正直使い道ないよみたいなことで、もっと違う方向で利活用した方が良いのではというような意見もいただいています。今後あの建物をどうしていくかというのを揉んでるところでありますので、その辺言われたように、有効活用できるのであれば、違う道も探っていきたいと思います。



天壳地区

はじめに町から「国民健康保険・後期高齢者医療制度について」の説明を行い、その後意見交換を行いました。

が出る部分がありますが、その条件としては今より小さくするか、あとは省エネタイプに変える形であれば補助が付く形になっています。そういうものが踏まえながらどういうものか、いいか、それこそただ単純に小さくしてしまうと、先程言われた揺れに弱くなるかもしれないです、小さくせず現状と同じ形はなかなか難しいかもしれませんが、そもそも協議会ができていまして、そこには国、北海道、羽幌町、運航事業者、関連する沿岸バス、観光協会が入っており、そういうものがよいかこれから話を詰めていきます。どこまで反映できるかわかりませんが、揺れに強い船等の住民の要望は、町から話すことができると思います。

